

2017年11月10日（金）

学園創立53周年記念式典

ご来賓の方々をお迎えし、学園創立53周年記念式典が行われました。全員で学園歌を斉唱したあと、理事長先生から「武蔵野東学園は今年、53歳のお誕生日を迎えました」というお話に始まり、「皆さん、このサンライズホール、何か変わったのに気づきましたか？」という問いかけがありました。この学園祭を機に、サンライズホールに立派な校章が設置されました。



この校章は平成28年度と平成29年度の卒業記念品として贈られたものですが、実は鋳物で造られたもので重量は5kgもあります。創立者の北原勝平先生がこの学園を創る前に鋳物工場でお仕事をされていたことに触れ、学園創立の心が込められた校章であることをお話されました。「今、学園は2000人を超える園児・児童・生徒が通う大きな学園になりました。先日、外国から訪れた見学者の皆さんも、涙を流して感動していたそうです。こんなに大きな学園に育ったことは、29年前に亡くなられた北原キヨ先生もきっと天国で喜んでくれると思います」というお話をされました。その後、勤続職員表彰、そして友愛会会長・副会長より「お祝いのことば」がありました。友愛会会長・副会長をはじめ、式典中の子ども達の姿勢・態度はとても素晴らしく、とても気持ちのよい式典となりました。



音楽鑑賞会「邦楽入門コンサート」

創立記念式典のあと、「邦楽玉手箱」の皆さんをお迎えし、邦楽のコンサートが行われました。普段、耳にすることが少ない邦楽ですが、お箏、三味線、十七絃、尺八の他、今日は琵琶の演奏家もお招きし、美しい音色に酔いしれたひとときを楽しみました。



途中では代表の児童と代表の先生による尺八体験がありました。代表の児童は音が出ましたが、代表の先生は残念ながら最後まで音が出ませんでした。邦楽玉手箱の皆さん、ありがとうございました。